

2022年度（第10回）

自己点検・自己評価

学校法人 トヨタ神戸整備学園

専門学校

トヨタ神戸自動車大学校

【自己点検自己評価 評価委員】

氏名	部署・役職	氏名	部署・役職
鈴木 二郎	理事・校長	杉原 徹	教育部 部長代理
山口 裕行	事務局長	満田 克昭	教育部 第1教育室 室長
秋山 史彦	総務部 部長	為則 宏樹	教育部 第2教育室 室長
北村 豪久	総務部 次長	長澤 哲也	教育部 第3教育室 室長
高井 裕介	学生部 課長	谷川 嘉夫	教育部 企画室 室長

<事務局> 北村 豪久（総務部 次長） 乾 直也（総務部）

【自己点検自己評価委員会】

〔開催日〕 2022年11月14日（月）9:30～12:10

〔場所〕 専門学校トヨタ神戸自動車大学校 第会議室

〔出席者〕 理事・校長 鈴木二郎、事務局長 山口裕行、

総務部／部長 秋山史彦、次長 北村豪久、学生部／課長 高井裕介

教育部／部長代理 杉原徹、企画室長 谷川嘉夫、第1教育室室長 満田克昭

第2教育室室長 為則宏樹

<事務局> 北村豪久

目次

基準1 理念・目的・育成人材像.....	6
【中項目】1-1 理念・目的・育成人材像.....	6
【中項目】1-2 学校の特徴.....	7
【中項目】1-3 学校の将来構想.....	8
基準2 学校運営.....	9
【中項目】2-2 運営方針.....	9
【中項目】2-3 事業計画.....	10
【中項目】2-4 運営組織.....	11
【中項目】2-5 人事・給与制度.....	12
【中項目】2-6 意思決定システム.....	13
【中項目】2-7 情報システム化.....	14
基準3 教育活動.....	15
【中項目】3-8 目標の設定.....	15
【中項目】3-10 成績評価・単位認定等.....	17
【中項目】3-11 資格・免許取得の指導体制.....	18
【中項目】3-12 教員・教員組織.....	15

基準4 学修成果	20
【中項目】4-13 就職率.....	20
【中項目】4-14 資格・免許の取得率.....	21
【中項目】4-15 卒業生の社会的評価.....	22
基準5 学生支援	23
【中項目】5-16 就職等進路.....	23
【中項目】5-17 中途退学への対応	24
【中項目】5-18 学生相談	25
【中項目】5-19 学生生活	26
【中項目】5-20 保護者との連携.....	28
【中項目】5-21 卒業生・社会人.....	29
基準6 教育環境	30
【中項目】6-22 施設・設備等	30
【中項目】6-23 学外実習・インターンシップ等.....	31
【中項目】6-24 防災 (≒2018 防災・安全管理を分割)	32
【中項目】6-25 安全管理 (≒H30 防災・安全管理を分割)	33
基準7 学生の募集と受け入れ	34
【中項目】7-25 学生募集活動	34
【中項目】7-26 入学選考	35

【中項目】7-27 学納金.....	36
基準8 財務	37
【中項目】8-28 財務基盤	37
【中項目】8-29 予算・収支計画.....	38
【中項目】8-30 監査	39
【中項目】8-31 財務情報の公開.....	40
基準9 法令の遵守.....	41
【中項目】9-32 関係法令・設置基準等の遵守	41
【中項目】9-33 学校評価	42
【中項目】9-34 教育情報の公開.....	43
基準10 社会貢献・地域貢献	44
【中項目】10-35 社会貢献・地域貢献.....	44

基準 1 理念・目的・育成人材像

【中項目】1-1 理念・目的・育成人材像

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	学校運営の基本的な考え方を示すもので、明確に定める必要があり、外部にも周知を行う	<ul style="list-style-type: none"> ◆理念として、設立目的・教育目標・運営方針を定め、パンフレット・HPに掲載。 ◆育成人材像は教育目標の中で表現している。 ◆3つのポリシー（アドミッション、カリキュラム、ディプロマ）を定めそれに基づき推進している 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスガイド、シラバス ・学校ホームページ ・学校案内パンフレット ・職員まるごとガイドブック
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	関連企業のニーズを把握し、それに沿った育成人材像の構築を行い、明確に定める	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校設立時に関連企業のニーズも勘案した上で、教育目標の中で育成人材像を定めている。 	なし	

特記事項

理念

- 【目的】 21世紀の業界を背負って立つ人材の育成
業界の中核そして将来は管理職、経営者の輩出
- 【教育目標】 「つねに時代をリードできるカーテクノロジーのエキスパート」になりうる基礎の修得
1. プロとして活躍できる技術を学び、技能を身につける
 2. 人から信頼される豊かな人間性を養う
 3. 時代とともに成長できる向上心を培う
- 【運営方針】
1. 楽しい学習
 2. 快適な学生生活
 3. 心の通う交流
- 【3つのポリシー】
- ・アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）
 - ・カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）
 - ・ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

最終更新日付	2022年 11月7日	記載責任者	教育部	満田
--------	-------------	-------	-----	----

【中項目】1-2 学校の特徴

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-2-1 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	トヨタ系企業への就職を軸に、即戦力となり得る人材育成に向け、充実した設備、教材、教育内容等を備える	<ul style="list-style-type: none"> ◆トヨタ自動車創立校として、トヨタ車を教材とし、高難度診断機器の取り扱いやハイブリッド車対応等に取り組んでいる。 ◆トヨタ販売店の技術教育（ステップ教育）に沿った教材・教科書を使って教育している。 ◆ビジネス演習室、高度診断機GTS、HEV・PHEV・FCEV・BEV等を教材として配備、適宜更新を行っている。 ◆定期的に教員がトヨタ自動車の技術教育を受け、最新技術を教育に織り込んでいる。 ◆2022年度は3年ぶりにトヨタ自動車からの技術講演を再開した。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・レスンプラン ・カリキュラム ・資産棚卸しチェック表 ・教材管理マスター

特記事項

【主なトヨタの特色ある教材】

- ・高度診断機GTS 69台
- ・HEV 39台
- ・PHEV 3台
- ・FCEV 1台
- ・BEV 3台(LQ)
- ・1NRエンジンベンチ 38台
- ・1KDエンジンベンチ 6台

【TMC技術講演】

- ・2022年度 電気自動車LQの開発について

最終更新日付	2022年 11月7日	記載責任者	教育部	満田
--------	-------------	-------	-----	----

【中項目】1-3 学校の将来構想

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-3-1 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	中期的構想で、3～5年先における学校のあるべき姿を明確にしていく	<ul style="list-style-type: none"> ◆企業ニーズおよび新技術に対応するための教育・設備更新を計画的に進めている。 ◆社会の環境変化に対応し、教育体制・教育内容の見直しを検討している。 ◆中期経営計画（学生数・経常収支見込）を策定している。 ◆2020年度には5か年の中期計画を策定している。 	・昨今の社会環境の変化を踏まえて、中期計画の修正を行う。	「トヨタ神戸自動車大学校中期計画」（2020～25年）

特記事項

なし

最終更新日付	2022年 11月7日	記載責任者	教育・総務・学生部	杉原・秋山・高井
--------	-------------	-------	-----------	----------

基準 2 学校運営

【中項目】 2-2 運営方針

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	教育活動、学校運営の根幹となる設立目的・教育目標とともに運営方針を定め、全教職員に周知、浸透を図る	◆設立目的・教育目標とともに運営方針・取組姿勢を定め、学内 HP に掲載する等全教職員に周知し、毎年教育活動、学校運営を行っている。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学内 HP ・キャンパスガイド ・職員まるごとがっく

特記事項

【運営方針】

1. 楽しい学習
2. 快適な学生生活
3. 心の通う交流

【取組姿勢】

1. 職員各人および各課、各G、各部が、さらには学校全体として不断の改善を推進
2. 職員各人プロフェッショナルとして、また真に配慮の行き届く組織として方針を展開

最終更新日付	2022年 11月7日	記載責任者	教育部	満田
--------	-------------	-------	-----	----

【中項目】2-3 事業計画

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度事業計画を策定し、理事会・評議員会の承認を経て執行する。 ・事業計画を達成するために各部方針を定め、業務分担、目標等を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆3月の理事会・評議員会にて翌年度の事業計画、5月の理事会・評議員会にて前年度の事業報告について承認を得ている。 ◆事業計画に基づいて部方針を策定し、項目毎に主担当、スケジュール、達成目標を定めて推進している。 ◆2021年度に「今後の教育環境の整備計画」をプロジェクトで立案。プロジェクトの提言を踏まえ、2022年度に新学科及び高度科のコース別の検討を開始し、学生募集強化としてベトナム現地における募集活動の強化に着手している。 ◆2022年度に創立30周年を迎えるのを機に、教育の充実を図るための施設設備の整備資金に充てる寄付金制度を立ち上げ広く募る。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書 ・予算書 ・部・室方針 ・設備・教材更新予定表 ・「学生数・経常収支見込」

特記事項

最終更新日付	2022年 11月9日	記載責任者	総務部	秋山/北村
--------	-------------	-------	-----	-------

【中項目】2-4 運営組織

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	寄付行為に基づき理事会・評議員会を開催し、組織運営に関して適切に審議・承認を行い円滑に法人・学校の組織運営を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆寄付行為に基づき理事会・評議員会を年2回定期開催（3月：事業計画・予算、5月：事業報告・決算）し、さらが必要な場合は臨時開催している。 ◆学校ガバナンス強化の為、監事を1名追加した。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付行為、りんぎ規程、 ・理事会・評議員会議事録 ・理事・監事・評議員名簿 ・理事会の権限移譲に関する規則
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	業務分担、職制が明確な組織体制で円滑な学校運営を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆校長の下に教育部・学生部・総務部の3部において学校運営を行っている。 ◆課題に応じて個別プロジェクトを設置し対応している。 ◆留学生増に対応するため留学生支援担当を選任するなど環境の変化に併せ適宜組織体制を変更している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・組織図 ・部方針

特記事項

・定例理事会・評議員会 : (3月) 事業計画・予算、(5月) 事業報告・決算

最終更新日付	2022年 11月7日	記載責任者	総務部	秋山/北村
--------	-------------	-------	-----	-------

【中項目】2-5 人事・給与制度

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	<ul style="list-style-type: none"> 人事・給与については就業規則・給与規則、それに沿った内規を定め運用する。 採用・人事考課・昇級・昇給については規則・内規に従って運用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆就業規則・給与規則他規程を定め運用している。また、労働関係諸法令の改正対応も適宜行っている。 ◆人事考課・昇級・昇給等人事制度は規則・内規に基づき毎年定期的の実施している。 ◆採用は中期的な要員計画に基づき、定期的な若干名の採用（教員）を行っている。 ◆キャリア採用を行い欠員を補充している。 	退職者低減に向け人事制度の見直しを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 就業規則 給与規則 満55歳に到達した職員の取り扱い規則 採用決裁書 求人票

特記事項

- 給与規則の別紙に職能基準給、職能個人給基礎額、年齢給テーブル設定している
- 新卒採用は、2023：内定2名、2022：1名、2021：なし、2020：2名、2019：なし、2018：2名、
- キャリア採用は、2022：4名、2021：8名、2020：1名、2019：なし、2018：なし

最終更新日付	2022年 11月14日	記載責任者	総務部	秋山/北村
--------	--------------	-------	-----	-------

【中項目】2-6 意思決定システム

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	<ul style="list-style-type: none"> 意志決定の最高機関である理事会及び「権限移譲に関する規定」に基づき意思決定を行う。 寄付行為、りんぎ規定で基準を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆2回／年定例の理事会を開催し事業計画・予算、事業報告・決算等の承認を得ており、必要な場合は随時開催している。また、「権限移譲に関する規定」に基づき理事会の他理事長、校長が委任された事項の意思決定を行っている。 ◆寄付行為、りんぎ規定を定め運用している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付行為、りんぎ規程 ・理事会の権限移譲に関する規則 ・物品購入・経費支払いに関するりんぎ・決裁起案の基準について ・理事会議事録 ・りんぎ書ファイル

特記事項

最終更新日付	2022年 11月7日	記載責任者	総務部	秋山/北村
--------	-------------	-------	-----	-------

【中項目】2-7 情報システム化

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 ICT化により業務の効率化、教育の充実、学生募集の充実を図っているか（各部）	<ul style="list-style-type: none"> 各業務のICT化は費用対効果を考えて実施する。 最新のICT技術を積極的に取り入れ、業務・教育の充実を図る。 	<p><法人業務関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆2021年度から会計システム、固定資産管理システム、学費・寮費・預り金管理システムをwebシステムに更新。2023年度から義務化の電帳法の対応も実施済み。 ◆2022年から人事/給与システムを更新。勤怠もwebシステムを導入。勤怠システムと給与システムが連携し業務の効率化が図れた。 <p><教育関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆2021年度新生よりタブレットPCを個人所有させ、教育および学生連絡ツールとして活用している。 ◆学生ポータルサイトから、オンラインで企業情報閲覧や就職希望調査などが行えるようにしている。 <p><学生募集関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆入学検討者への説明の際にタブレットPCを使用し説明内容の充実、均一化を図っている。また、入学検討者の情報を個別管理し、来校時の個別相談に活用している。 	<p><教育関係></p> <ul style="list-style-type: none"> 教務関係システムの更新を検討する。 全学生がタブレットPC等の情報端末を学内で活用するようになり、Wi-Fiネットワークの負荷が高くなっている。通信環境および運用方法の見直しを進めていく。 <p><学生募集関係></p> <ul style="list-style-type: none"> 学生募集、入試、のシステム更新を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> システム概要 システム構成図
2-7-2 情報システムのセキュリティ対策を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> システムセキュリティポリシー・マニュアルを定め対策を行う。また、システム担当者に対して遵守を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆システムセキュリティポリシー・マニュアルに基づき主に以下の対策を講じている。 <ul style="list-style-type: none"> アクセス制限、バックアップ、ウィルス対策、ログ監視、デバイス利用制限等 ◆コロナ禍対応及び学生タブレット導入に伴い外部からのアクセス制限を見直した。（リモートワーク等） 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の業務効率化の為利便性を図りながらもセキュリティ対策を確実に講じる 	<ul style="list-style-type: none"> システムセキュリティポリシー システムセキュリティマニュアル

特記事項

現状使用システム
 〈教育、募集関係〉 ・ スクールリーダー
 〈法人業務関係〉 ・ Leyser（会計） / 勤次郎（勤怠） / SmileV（人事、給与）

最終更新日付	2022年10月31日	記載責任者	教育部	谷川
	2022年11月11日		学生部	高井
	2022年11月7日		総務部	秋山/北村

基準3 教育活動

【中項目】3-8 目標の設定

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 育成人材像に沿って具体的な目標が設定できているか	・各学科ともに育成人材像に相応しい目標を設定し、提示できている。	◆各学科の目標は「目標人材像」として設定し提示している。	なし	・育成ビジョン

特記事項

【目標人材像】

〈自動車整備科〉

1. 自動車整備の技術/技能とともに、接客の基本・業務知識を身に付けている
2. 自らの役割を認識し、自ら考え、行動できる力を備えている
3. 向上心・責任感に溢れ、確かな信頼感・協調性を備えている

〈高度自動車科〉

1. 自動車技術/整備技能に加え、幅広い業務知識・教養を身に付けている
2. 自ら課題を発見・探求・解決する力、自らの考えを表現する力を備えている
3. 自律心・向上心・信頼感に溢れ、的確なリーダーシップを発揮できる

〈国際自動車整備科〉

1. 日本で働く上で必要な日本語力を身に付けている
2. 自動車整備の技術/技能とともに、接客の基本・業務知識を身に付けている
3. 自らの役割を認識し、自ら考え、行動できる力を備えている
4. 向上心・責任感に溢れ、確かな信頼感・協調性を備えている

〈ショールームスタッフ科〉

1. サービス・営業に通用する幅広い自動車の知識・技術を身に付けている
2. ホスピタリティ溢れる接客応対力を備えている
3. 人から信頼される豊かな教養・人間性を備えている

〈自動車整備・車体整備科〉

1. 自動車整備の技術/技能とともに、接客の基本・業務知識を身に付けている
2. 自らの役割を認識し、自ら考え、行動できる力を備えている
3. 向上心・責任感に溢れ、確かな信頼感・協調性を備えている
4. 一般整備に加え、溶接・板金・塗装などの幅広い知識・技術を身に付け、技能を有している

最終更新日付

2022年11月6日

記載責任者

教育部

長澤

【中項目】3-9 教育方法・評価等

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	目標人材像の育成に向けた教育課程を編成する	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育課程は目標人材像の育成に向けて編成している。 ◆教育課程は社会のニーズや技術の進化を踏まえて、適宜見直しを行っている。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム ・レッスンプラン
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	社会環境の変化に対応するため、定期的に外部の意見を聴取し、教育課程の改善に取り組む	◆理事会・評議員会、教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会で外部の意見をいただき毎年反映させている。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会・評議員会議事録 ・教育課程編成委員会議事録 ・学校関係者評価委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	自動車業界・販売社で仕事をするために身に付けておくべき知識・能力を養う教育をしている。	◆各学科、年次に合わせたキャリア教育を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ休校による時間数短縮の影響で実施を見送っていたキャリア教育を再開させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レッスンプラン ・カリキュラム ・インターンシップ報告書
3-9-4 授業評価を実施しているか	学生アンケートを定期的に行い、授業及び学生指導の改善を図る	◆学生アンケートを2回/年実施 8月と12月に授業評価をまとめ、改善に努めている。個々の教員に対しても行動に繋がられる評価シートを活用し改善を図っている。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学生アンケート ・学生アンケート報告書 ・評価シート ・評価シート報告書

特記事項

<各学科のキャリア教育内容>

- ・自動車整備科、国際自動車整備科
 - 1年（国2年）「企業が求める人材像」
 - 2年（国3年）「社会人に求められるコミュニケーション」「会社組織とキャリアステップ」「インターンシップ」
- ・高度自動車科
 - 2年「社会人に求められるコミュニケーション」「会社組織とキャリアステップ」
 - 3年「自動車業界の各職種の理解」「卒業生からの講話」
 - 4年「インターンシップ」
- ・ショールームスタッフ科
 - 1年「接客マナー・おもてなし」「職場見学」「キャリアデザイン・ライフプラン」
 - 2年「インターンシップ」
- ・自動車整備・車体整備科
 - 1年「企業が求める人材像」
 - 2年「社会人に求められるコミュニケーション」「会社組織とキャリアステップ」
 - 3年「BP工場見学」「インターンシップ」

最終更新日付	2022年11月6日	記載責任者	教育部	長澤
--------	------------	-------	-----	----

【中項目】3-10 成績評価・単位認定等

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	「履修成績評価基準」「修了判定要領」「成績評価（ランク）」についての基準を明確化し、適切に運用する	<ul style="list-style-type: none"> ◆成績評価は「修得試験結果および平常点」で行っている。 ◆修了認定は「全科目の修得試験に合格していること」を学則に明記し、認定会議で決定している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学則 ・シラバス ・履修成績評価基準（内規） ・修了判定要領（内規） ・成績評価（内規） ・成績一覧表 ・進級・卒業認定会議資料
3-10-2 作品及び技術等の発表を評価しているか	在校生の製作物・発表会を評価する仕組みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ◆高度自動車科は研究授業の成果を発表させ、成績評価している。 ◆ショールームスタッフ科は、接客対応ロープレ、アートワーカー、POP、ペン字の発表・製作について評価軸を定め成績評価している。2年卒業前には、お客様対応発表会を実施し、成績評価している。 ◆自動車整備・車体整備科3年次は、板金・塗装授業での製作物について評価軸を定め成績評価している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・成績一覧表 ・研究授業評価シート ・作品評価シート（SS、BP）

特記事項

--

最終更新日付	2022年11月6日	記載責任者	教育部	長澤
--------	------------	-------	-----	----

【中項目】3-11 資格・免許取得の指導体制

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格は、教育課程上で、明確に位置づけているか	目標とする資格が着実に取得できる教育課程となっている。	◆各学科とも目標とする資格を取得する教育課程をつくり実施している。	・トヨタの資格制度の変更に伴い、取得資格の見直しが必要となっている (トヨタ検定B・P・E、業務認定)	・教育課程一覧表 ・授業ガイド ・シラバス
3-11-2 資格取得の指導体制はあるか	各資格の教育において、レシンプランを備え、十分な知識・技能を持った教員が担当している。	◆各資格とも、有資格者もしくはそれに相当する知識・技能を持った教員がレシンプランを基に教育している。	なし	・レシンプラン ・授業ガイド ・シラバス ・教員スキルマップ

特記事項

目標とする資格

<自動車整備科>

国家2級自動車整備士 トヨタ技術検定3級 電気自動車等の整備業務に係る特別教育

<高度自動車科>

国家1級自動車整備士 トヨタ技術検定2級/エステイメーション検定3級
トヨタ業務認定D級 電気自動車等の整備業務に係る特別教育
ビジネス能力検定2級 文章能力検定準2級

<ショールームスタッフ科>

国家3級自動車整備士 トヨタ技術検定4級/エステイメーション検定3級
損害保険募集人資格 トヨタ業務認定D級 サービス接客検定2級
マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定 漢字能力検定

<自動車整備・車体整備科>

国家2級自動車整備士 トヨタ技術検定3級 電気自動車等の整備業務に係る特別教育
国家自動車車体整備士 電子制御装置整備の整備主任者資格
トヨタ技術検定 ボデー3級/ペイント3級/エステイメーション3級
アーク溶接特別教育修了 有機溶剤作業主任者 タイヤ空気充填特別教育修了

<国際自動車整備科>

日本語能力検定N2
国家2級自動車整備士 トヨタ技術検定3級 電気自動車等の整備業務に係る特別教育

最終更新日付	2022年11月6日	記載責任者	教育部	長澤
--------	------------	-------	-----	----

【中項目】3-12 教員・教員組織

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	一種養成施設指定基準の教員要件を満足している教員が授業を実施している	◆学校採用教員およびトヨタ販売店からの出向教員により、必要人員数およびその資格を満足している。	なし	・一種養成施設指定基準 ・組織図 ・教育を行うものの名簿
3-12-2 教員の資質向上への取り組みを行っているか	教員としてふさわしい知識・技能・技術・教養の向上ができるよう定期的な研修を行うと同時に自己啓発に取り組む	◆新技術理解のため、トヨタ自動車技術講習などを受講し、全教員に展開している。 ◆夏休み・春休みを利用して学生指導力向上のための研修も継続的に実施している。 ◆入社後一定年次に、販売店サービス現場での研修、JAMCA 教職員研修を実施している。 ◆教員個人との期首面談時に、自己啓発の取り組み計画を確認しながら進めている。	なし	・研修報告書 ・兵専各研修者名簿
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員組織において、業務分担や責任体制は規程等で明確にしている	◆部の下に学年ごとの教育室を設け、学年内で連携した教育実務を行いやすい体制を構築している。 ・業務分担は業務分担表にて明確に定めている。 ・責任体制は、職位に応じた決裁基準を設けている。	なし	・組織図 ・管理職マニュアル ・業務分担表

特記事項

2022 年度 教員研修実績（抜粋）
 7 月 JAMCA 教職員研修
 8 月 トヨタ自動車エンジニアリーダー研修（電動車、多重通信）
 8 月 教職員研修会（アカデミックハラスメントについて）
 11 月 教職員研修会（環境対応車用バッテリーについて）

最終更新日付	2022 年 10 月 31 日	記載責任者	教育部	谷川
--------	------------------	-------	-----	----

基準 4 学修成果

【中項目】 4-13 就職率

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	就職率 100%に向け、学生への就職活動支援を充実させる	<p>◆就職率 100%に向け、以下の内容に取り組んでいる。</p> <p>①就職対策講座の実施 ②企業採用担当者およびサービス分野の役職者による講演の実施 ③夏休み企業訪問の推進 ④企業研究セミナーの催行による就職先研究</p>	2022 年度の国内就職希望留学生（95 名）を就職させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・年度別就職実績 ・企業別求人数・受験・内定状況

特記事項

- ◆就職率（卒業年度）
 - ・2020 年度 高度科 100% 自整科 100% 車体科 100% S S 科 100%
 - ・2021 年度 高度科 100% 自整科 100% 車体科 100% S S 科 100%
 - ・2022 年度（内定率） 高度科 100% 自整科 100% 車体科 96.3% S S 科 100%
- ◆トヨタグループへの就職率（卒業年度）
 - ・2020 年度 93.8%、2021 年度 93.8%、2022 年度（内定率）94.3%
- ◆留学生の国内就職状況（卒業年度）
 - ・2021 年度 国内就職者 13 名（第 1 希望内定率 92.3%）
 - ・2022 年度 国内就職者 61 名（第 1 希望内定率 94.4%）
 - ・2023 年度 国内就職希望者 95 名

最終更新日付	2022 年 10 月 31 日	記載責任者	教育部	谷川
--------	------------------	-------	-----	----

【中項目】4-14 資格・免許の取得率

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格取得率の向上が図られているか	自動車整備士国家資格をはじめとして、業界の社会人として必要な資格の取得率向上に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ◆高度科では国家一級資格の取得率が92%に留まった。その他の学科は取得率100%を達成。 ◆トヨタ技術検定2, 3, 4級、BP/エステイション3級、業務認定D級は100%取得している。 ◆一部資格において、合格目標未達のものがある。(日本語能力検定など) ◆各資格試験は試験結果の分析から次年度の対策授業の進め方を改善している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家一級資格100%合格に向けた授業の改善を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各資格試験結果報告書

特記事項

国家資格取得率

- ・2018年度 1級自動車整備士 89.4% 2級自動車整備士 100%
- ・2019年度 1級自動車整備士 98.8% 2級自動車整備士 100% 車体整備士 100%
- ・2020年度 1級自動車整備士 100% 2級自動車整備士 100% 3級自動車整備士 100% 車体整備士 100%
- ・2021年度 1級自動車整備士 91.6% 2級自動車整備士 100% 3級自動車整備士 100% 車体整備士 100%

最終更新日付	2022年11月6日	記載責任者	教育部	長澤
--------	------------	-------	-----	----

【中項目】4-15 卒業生の社会的評価

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の頑張りや、昇進・昇格情報を在校生にフィードバックし、学生指導に活かす。また、当校の教育の至らない点などは教育改善に反映させる	<ul style="list-style-type: none"> ◆教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会の学外委員より卒業生の評価を確認している。 ◆卒業生の技術コンクール出場等の活躍事例を在校生に紹介している。 ◆就職先に対し定期的（4年毎）に卒業生の役職等調査を実施している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成委員会議事録 ・学校関係者評価委員会議事録 ・卒業生の役職等の調査結果

特記事項

- ◆全国トヨタサービス技術コンクールへ出場した卒業生数
 - ・2018年度 トヨペット店7名、ネッツ店7名
 - ・2019年度 （地区大会のみの開催）
 - ・2020年度 （新型コロナにより延期）
 - ・2021年度 全チャネルで11名
 - ・2022年度 開催なし

最終更新日付	2022年10月31日	記載責任者	教育部	谷川
--------	-------------	-------	-----	----

基準5 学生支援

【中項目】5-16 就職等進路

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学生の適性に応じた就職先に就職できるよう、支援・指導する体制を整える	<ul style="list-style-type: none"> ◆就職支援グループおよび担当が、学生の志望状況の把握および、就職先選択へのアドバイスを実施している。 ◆就職活動に不安を感じる学生に対しては、管理職による個別指導体制をとっている。 ◆就職試験不合格の学生には、次の進路情報を迅速に紹介し、面接指導を行っている。 ◆企業にお願いし、離職者数・平均勤続年数・年休取得数など労働実態も積極的に開示して、就職活動支援に活用している。 ◆留学生の就職支援については、留学生専任スタッフを中心に担任および就職担当、管理職が連携して支援を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対外的なコミュニケーションが取れない学生は不合格となってしまうため、適性に合った就職先の紹介を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職希望調査結果

特記事項

- ◆第1希望内定率（卒業年度）
 - ・2022年度 94.3%、2021年度 93.8%、2020年度 93.8%、2019年度 92.6%

最終更新日付	2022年10月31日	記載責任者	教育部	谷川
--------	-------------	-------	-----	----

【中項目】5-17 中途退学への対応

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	入学した学生は責任を持って教育し、全員の卒業を目指す 退学を最小限に留めるような教育を実践していく	◆退学を最小限に留めるよう、以下の施策を実施している。 ・成績不振者に対応するための個別勉強会 ・担任による保護者への密な電話連絡と書簡送付 ・保護者会での保護者との面談 ・カウンセラー・保健室でのメンタルケア	・留学生の中途退学の理由として「経済的困窮」「日本語力」があるため、個々に応じた対応が必要となっている 国際科1期生39名の内 1年次2名退学（'20） 2年次5名退学（'21） 3年次0名（'22） 国際科2期生81名の内 1年次4名退学（'21） 2年次0名（'22）	・退学願い ・退学の経緯 ・個別勉強会対象者リスト ・担任指導記録 ・保護者会案内

特記事項

・退学率…〈各学科の修業期間における退学者数〉／〈入学時在籍者数（留年者・転科者除く）〉

年度	2017年度卒	2018年度卒	2019年度卒	2020年度卒	2021年度卒	2022/10月末時点
自動車整備科（％）	4.3	3.7	6.0	4.3	3.2	6.0
高度自動車科（％）	3.9	2.9	6.5	4.3	5.7	7.1
車体整備専攻科（％）	-	-	0	0	0	0
国際自動車整備科（％）	-	-	-	-	-	17.9
ショールームスタッフ科（％）	-	-	-	0	0	0

最終更新日付

2022年11月18日

記載責任者

教育部

為則

【中項目】5-18 学生相談

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1-1 学生相談に関する体制を整備しているか (教育部)	教員が学生の悩みを早期に把握し、相談に乗る体制を整える。	◆担任は役割として学生の個別相談に対応することとしている。 ・個別面談は年2回以上実施 ◆いじめ把握のアンケートを年2回実施している。	なし	・担任指導記録 ・メール相談窓口案内 ・いじめアンケート結果
5-18-1-2 学生相談に関する体制を整備しているか (総務部)	教員以外に気軽に相談できる体制を整える。	◆メンタルケアに関しては保健室及び相談室（カウンセラー（臨床心理士））を設置している。 ◆学生相談に総括的に対応できるよう学生生活支援センターを設置している。	なし	なし
5-18-2-1 留学生に対する相談体制を整備しているか	留学生に対して特別に相談できる体制を整える	◆留学生専任スタッフを配置し、生活相談・困りごとに対応している。 ◆国際科の教員も相談対応を行うようにしている。	なし	なし
5-18-2-2 入学検討の留学生に対する相談体制を整備しているか	入学検討の留学生に対して、出願資格や必要書類、入学後の勉強等について、相談ができる体制を整える。	◆外国人スタッフ、留学生担当を置き相談対応している。	なし	なし

特記事項

- ・看護師1名が常勤で保健室に勤務している
- ・カウンセラーは非常勤で週2回午後、保健室に常駐している。（必要な場合は別途相談室で面談）
- ・留学生数(期首) 2022:204人 2021:172人 2020:97人 2019:42人、2018:11人

最終更新日付	2022年10月31日	記載責任者	教育部	為則
	2022年11月8日		学生部	高井
	2022年11月7日		総務部	秋山/北村

【中項目】5-19 学生生活

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	学生・寮生の負担を軽減する措置を講じる。また、就学が困難となった場合においても学業継続できるように個別対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆当校独自の奨学金制度、日本学生支援機構奨学金の活用により学費支援を実施している。 ◆学費寮費の月払い制度を実施している。（2023年度より留学生も適用） ◆21年度より神戸市が実施している「ふるさと納税」を活用した「大学や短期大学、専修学校を支援する制度」に参画し、主に留学生に対する経済的支援を行っている。22年度も引き続き参画する。 ◆22年度は学生の経済的支援の一環で以下の事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・記念ランチ2食を提供（30周年記念事業として） ・寮生に朝食を提供（学生支援機構、県の助成あり） 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に経済困窮の支援を行う必要がある。 ・ふるさと納税の支援者の拡充を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集要項 ・学費（寮費）延納・分納許可願い
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校保健安全法に基づき学生の健康管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆保健室に学校医・看護師、相談室にカウンセラーを配置している。 ◆定期健康診断の他、心身の健康管理についての対応を適宜学生に行っている。 	なし	
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	遠隔地から就学してくる学生のために学生寮を設置する。また学生食堂を設置して学生の健康管理に配慮した食事提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆432室（含む女子10室）の寮を敷地内に併設している。 ◆寮監が常駐・宿直勤務（一部警備会社委託）しており快適な寮生活ができる体制を整えている。 ◆学生食堂を設置しており、寮生は朝昼夕3食喫食できる。健康増進法に基づく特定給食施設として栄養管理を行っており、保健室とも連携し肥満改善など寮生の健康課題にも取り組んでいる。 ◆留学生増に対応し専用フロアーを設置した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度より提携日本語学校の留学生も入寮予定の為、支援体制を整備する。 ・食堂利用者の減と原材料、人件費の高騰により食堂の経営支援を継続実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対応総括（安全衛生環境委員会報告）
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか（教育部）	学生が活発に活動できるようクラブ活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆クラブ事務局を置き、クラブ活動を支援（補助金、顧問）している。 ◆各クラブに積極的な対外試合参加を推奨している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動報告書

特記事項

- ・2017年7月、神戸市保健所長より表彰受賞（「神戸市優良特定給食施設推進事業」）
- ・2022年度 クラブ数：14（昨年13））、部員数：268名（昨年昨年242名）参加率31.2%（昨年30.2%）
- ・2020年度 食堂業者見直し変更
- ・在寮留学生数26名
- ・2022年度奨学金対象者は在校生845名のうち428名（実数）

最終更新日付	2022年11月9日	記載責任者	総務部	秋山/北村
最終更新日付	2022年10月31日	記載責任者	教育部	為則

【中項目】5-20 保護者との連携

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	効果的な教育を展開するには保護者の支援が有効であり、保護者との連携を深める	<ul style="list-style-type: none"> ◆保護者に年2回、学生の成績表を送付している。 ◆必要に応じて保護者と電話連絡、面談を実施している。 ◆2015年度から1年生の保護者会を毎年実施している。2020年度からは電話もしくはオンラインでの担任面談、2021年度からはクラスごとの授業風景動画のネット配信も行っている。 ◆保護者会に参加出来なかった方に対して、当日の保護者会動画のネット配信を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な授業風景の配信は、個人情報、工数の関係もあり見合わせる。 → 昨年の検討事項 	<ul style="list-style-type: none"> ・成績書発送書簡 ・保護者会案内 ・保護者会報告書

特記事項

・保護者会（自動車整備科1年、高度自動車科1年、ショールームスタッフ科1年）の参加状況

年度	実施形式	対象学生数	参加組数	参加率 (%)	面談組数	面談率 (%)
2019年度	対面	258	157	60.9	143	55.4
2020年度	オンライン	213	-	-	79	37.1
2021年度	オンライン	252	-	-	90	35.7
2022年度	対面・オンライン	230	127	55.2	114	49.6

(算出方法)

参加率 = 参加組数 / 対象学生数

面談率 = 面談組数 / 対象学生数

最終更新日付	2022年11月14日	記載責任者	教育部	為則
--------	-------------	-------	-----	----

【中項目】5-21 卒業生・社会人

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	当校卒業後も卒業生に対し、必要な支援体制を整え、学校情報提供や支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校新聞を作成し、同窓会を通じて配布している。 ◆卒業生相談窓口を設置・案内し、卒業後の悩みごとを聞く体制を整えている。 ◆卒業後3年間、LINEで近況伺いをし、悩みごとの把握・対応を行っている。 ◆国家資格不合格の卒業生に学習支援をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在はLINEで近況伺いを行っているが、在学生はコミュニケーションツールとしてTeamsを活用。卒業後、スムーズに移行できる仕組みの検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校新聞 ・学校ホームページの相談窓口案内 ・LINEでの近況伺い
5-21-2 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人や企業に対して、状況に沿った修学支援、学習支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆社会人が入学した場合に学費の60%が補助される「専門実践教育訓練講座」（厚生労働省）の指定を2017年度に受けており、HPにて案内している。 ◆販売店の高卒新人向けに国家3級取得研修を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用件数少ない為、社会人入学生増に向け積極的PRを図る。 	

特記事項

最終更新日付	2022年10月31日	記載責任者	教育部	為則
--------	-------------	-------	-----	----

基準 6 教育環境

【中項目】6-22 施設・設備等

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した設備・教材・教具等を整備しているか	法令等の基準を遵守し、教育上の必要性に十分対応し、かつ、学生が快適に学習・生活できる環境を整備し、維持管理を行う	<ul style="list-style-type: none"> ◆一種養成施設および認証工場の設置基準に基づき設備・教材・教具を揃えている。 ◆教育内容、学生数に対して十分な種類と数の設備・教材・教具を揃えている。 ◆技術の進化に対応した教材を計画的に導入している。 ◆教材維持管理のための仕組み・役割分担をつくり、確実に復元および更新計画を立てている。 ◆タブレットPC導入に伴い、学内全エリアに無線LAN環境を導入している。 ◆リフトの計画的な更新を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学科及び高度科のコース制に併せ、必要教材の配備を計画的に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一種養成施設変更届 ・認証工場変更届 ・資産棚卸しチェック表 ・教材管理マスター ・不具合教材調査票
6-22-2 教育設備以外にも学校として必要な施設・設備等を整備しているか		<ul style="list-style-type: none"> ◆施設・設備は計画的な更新、環境の維持管理を行っている。 ◆夏の暑さ対策のため2018年6月に実習場にエアコンを設置している。 ◆必要な資金確保はできているが、単年度収支状況に左右され中長期的に計画修繕が出来ていない。 ◆学生が保有するバイクの整備スペースを整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度以降中期的な修繕計画に基づき設備更新を実施する。 ・学生寮も時代のニーズに応じてリノベーションを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産リスト ・留学生アンケート

特記事項

教材更新

2020年度：車両（50系プリウス：4台、130系ヴィッツ：12台、RAV4 PHV：1台、レクサスLC500：1台、LS460 スケルトン車両：1台）
ベンチエンジン（1KD コモンレール：6台）

2021年度：車両（レクサスIS：7台、ダイナ：6台、GR スーブラ：1台、JPN TAXI：1台）
ツールスタンド：52台

2022年度：車両（10系AQUA：6台、80系NOAH：4台、レクサスLS：1台、LQ(BEV)：3台、20系MIRAI：1台、bZ4X(BEV)：1台、90系VOXY：1台）
ベンチエンジン（3SZ-VE：24台）、ツールスタンド：56台、GTS用PC：26台
ラークリフト用スライドプレート：11基、エアコンプレッサー：2基、水性塗料用乾燥機：2台

最終更新日付	2022年10月31日	記載責任者	教育部	谷川
	2022年11月7日		総務部	秋山/北村

【中項目】6-23 学外実習・インターンシップ等

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外研修、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外研修等において、関係機関と連携を取り、十分な成果が上がるよう教育体制・環境を整備する	<p>◆各学科、関係機関と連携を取り、以下のような研修を実施している。 但し、コロナ禍により外部研修の内容を変更または、取りやめた。</p> <p><高度自動車科、自動車整備科、国際自動車整備科> 国1年：日本文化体験（京都太秦） 1年(国2年)：名古屋研修 2年(国3年)：インターンシップ(除く高)、名古屋研修 高3年：運転技術向上研修 高4年：インターンシップ、東京・名古屋研修</p> <p><ショールームスタッフ科> 1年：販売店ショールーム見学、名古屋研修 2年：インターンシップ、東京研修&富士モビリティ研修</p> <p><自動車整備・車体整備科> BP工場見学、インターンシップ</p>	<p>・学外研修費用が負担となる留学生が増加している。学外研修参加の考え方の見直しが必要。</p>	<p>・年間カリキュラム ・インターンシップ 依頼書簡 ・インターンシップ 受入連絡票</p>

特記事項

2022年度の変更内容 4年:海外研修→国内研修

最終更新日付	2022年11月7日	記載責任者	教育部	満田
--------	------------	-------	-----	----

【中項目】6-24 防災 (≒2018 防災・安全管理を分割)

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	法令に基づき体制を整備し防火防災に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ◆防火・防災管理体制を整備し日常の管理を行っている。 ◆職場防災隊を組織し、消防訓練及び防災訓練を各1回/年実施している。 (2018より消防、防災訓練を同日に実施) ◆オープンキャンパスなど休日出勤時に災害が発生した場合に対応できるようマニュアルを整備し、防災監視盤に掲示している。 ◆地震発生時の初動マニュアルを整備し、防災監視盤に掲示している。 ◆休日の無人体制の時に対応できるように防災監視盤の更新が必要である。 ◆防災訓練に合わせて連絡網の運用訓練を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度、防災監視盤の更新を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防火・防災管理者選任届、 ・消防計画届、自衛消防組織設置届 ・自衛消防訓練届

特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画に基づく災害を想定した避難訓練の実施 (2009年6月消防法改正) (火災想定消防訓練を5月、地震想定防災訓練10月に実施していたが、2018より5月に1日で実施。但し2020年度はコロナのため延期し10月に実施) ・2020年10月、2022年10月の訓練では、休日出勤時の対応を想定し、総務部に代わり学生部が主体となって訓練を実施。

最終更新日付	2022年11月7日	記載責任者	総務部/教育部	秋山・北村
--------	------------	-------	---------	-------

【中項目】6-25 安全管理 (≒H30 防災・安全管理を分割)

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-25-1 学内における安全管理体制を整備し適切に運用しているか	・安全管理者を選任、安全計画の作成・実施・安全衛生環境委員会を設置し、学校全体の安全対策を講じる。	◆安全管理者を選任し巡視を1回/月行い、安全作業の環境を維持、向上に努めている。 ◆安全衛生環境委員会を1回/月開催し、安全計画の実施進捗管理を行っている。	なし	・安全管理者選任届 ・安全衛生環境委員会議事録 ・職員まるごとハンドブック
6-25-2 授業等において学生に関する安全管理体制を整備し適切に運用しているか	学生に対して安全に授業を進めるための環境を整え、安全作業を徹底する	◆作業安全に関しては以下の教育を行っている。 ・導入教育での基礎的な安全教育 ・各実習授業ごとの安全作業の教育 ・定期的な各実習作業の安全見回り点検を実施 ◆2018年より「安全が最優先」をスローガンに「安全の基本5行動」の徹底を図っている。 また、事例に基づく危険予知教育も実施	安全作業教育の啓蒙を継続し、学生の重大事故を防止する	・4S巡回点検記録簿 ・作業注意事項引継ぎファイル

特記事項

・2022年度4～10月の授業中のケガ0件（2021年度1件、2020年度1件、2019年度3件、2018年度0件）

最終更新日付	2022年10月31日	記載責任者	教育部	谷川・為則
--------	-------------	-------	-----	-------

基準 7 学生の募集と受け入れ

【中項目】 7-25 学生募集活動

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	対象者が在籍する教育機関に情報を開示、提供し、当校理解の促進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ◆以下事項にて情報提供に取り組んでいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校 H/P を適宜メンテナンスし学校案内、入試要項を公開 ・「学校案内」を高校、日本語学校へ配布 ・高校、日本語学校訪問活動にて情報提供 ・高校進学相談会参画 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校案内一式」
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	入学定員を満たすべく、学校活動の内容を紹介する機会（オープンキャンパス）等を通じ、事実に基づく広報活動を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆適切かつ効果的な広報活動を目指し、広報に関わる費用、ツール、施策を年度ごとに見直しを行っている。（コロナ対応としてオンライン学校説明会を年間を通じて実施） 	入学定員を満たしておらず、募集活動の工夫改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校案内一式」

特記事項

新入学生／定員

- ・ 2020 年度生：272 名/380 名（内、日本人 218 名・留学生 44 名）
- ・ 2021 年度生：361 名/400 名（内、日本人 254 名・留学生 107 名）
- ・ 2022 年度生：284 名/410 名（内、日本人 228 名・留学生 56 名）

最終更新日付	2022 年 11 月 11 日	記載責任者	学生部	高井
--------	------------------	-------	-----	----

【中項目】7-26 入学選考

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考基準を規定で明確に定め、入学試験要項上に記載し適切に運用する	<ul style="list-style-type: none"> ◆入学選考基準（編入学も含む）に基づき入学試験を適切に実施している。 ◆環境の変化に即し、入試区分の整備とそれに合わせた選考基準、入試形態の見直しを行っている。 ◆留学生は筆記試験（日本語・数学）を継続実施 	なし	・学生募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考に関する実績情報を正確に管理し、入学後の授業運営や、財務計画策定等に反映する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学科ごとの合格数、辞退数を管理し総務部へ連絡⇒財務計画、予算立案へ反映している。 ◆入学者の入試成績を踏まえ、教育部にて入学前フォローに活用している。 	なし	・入試まとめ

特記事項

なし

最終更新日付	2022年11月11日	記載責任者	学生部	高井
--------	-------------	-------	-----	----

【中項目】7-27 学納金

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 学納金は環境の変化に併せ適宜見直しを行っているか	学校の収支、他校の状況を勘案し決定する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆経費削減に取り組み学費・寮費及び預り金の低減努力を行っている。 ◆環境変化に併せ2022年度後期より学納金改定を行った。 ◆2023年度より寮費の改定を行う。（寮預り金を廃止し管理費として徴収） 	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰に伴い引き続き学納金の改定が必要である。 ・併せて消費税対応も含めて預り金制度の見直しを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集要項 ・予算書、決算書
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	文部科学省通達に基づき適正に取扱う	◆3月末までに辞退の申し出があった場合は入学金以外全額を返金している。	なし	・学則

特記事項

- 2019年度入学生より自動車整備科（2年）・高度自動車科（4年）の学費改定（2007年度以来の改定）
 - 2019年度開設 ・ショールームスタッフ科（2年） ・車体整備専攻科（1年）
 - 2019年後期より消費増税（8⇒10%）に伴い全学科・学年とも学費改定
 - 2020年度開設 ・国際自動車整備科（3年）
 - 2022年度開設 ・自動車整備・車体整備科（3年）（車体整備専攻科（1年）を廃止）
- ※各学科とも学納金は募集要項（HP）に掲載

最終更新日付	2022年11月7日	記載責任者	総務部	秋山・北村
--------	------------	-------	-----	-------

基準 8 財務

【中項目】 8-28 財務基盤

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・定員確保に努め、単年度収支黒字の維持に努める。 ・中長期的に必要なとなる施設設備に必要な資金を留保する。 ・資金は安全確実な運用を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ◆2022年度の収支は黒字の見込みである。 ◆中長期的に必要な資金は留保できており、安全な社債等で運用している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・財産目録 ・貸借対照表 ・事業活動収支予算・決算書 ・資金収支予算・決算書
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	適切な財務運営を行うために、収支状況、財産目録、貸借対照表などについて、分析を行う	◆毎月、月次決算で予算の執行状況・実績の対前年増減など報告し主要な財務数値について適宜分析を行っている。	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・（月次）事業活動収支計算書 ・資金収支計算書 ・貸借対照表 ・日本私立学校・共済事業団の財務集計/分析資料

特記事項

・28年度より学校会計基準変更(消費収支計算書⇒事業活動収支計算書)。

最終更新日付	2022年11月7日	記載責任者	総務部	秋山・北村
--------	------------	-------	-----	-------

【中項目】8-29 予算・収支計画

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	単年度ごとに事業計画・予算を立案する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆部門毎に事業計画案と年度予算案を立案し、全校で調整を行っている。 ◆中期計画は、必要なものは予定表を作成・更新し、これに基づき毎年事業計画・予算立案を行っている。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・部門別予算立案書 ・施設設備改善5か年計画 ・事業計画・予算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算は計画に従って執行する。月次・中間決算により予算/実績の進捗を適正に管理する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆毎月、月次決算で予算の執行状況・実績の対前年増減など確認し、予算計画に従って執行できているか確認している。予算外の案件が生じた場合は寄付行為等に従って適正に執行管理を行っている。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・月次決算書

特記事項

・2016年度より学校会計基準変更のため、予算書の様式を変更。

最終更新日付	2022年11月7日	記載責任者	総務部	秋山・北村
--------	------------	-------	-----	-------

【中項目】8-30 監査

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	ウ 現状評価	エ 課題と解決方向	オ ウの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	監事及び公認会計士による監査を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ◆監事に中間・期末決算と事業報告を行い監査を受けている。 ◆公認会計士による監査を1回/年実施している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・監事の監査報告書 ・会計士監査報告書、

特記事項

最終更新日付	2022年11月7日	記載責任者	総務部	秋山・北村
---------------	------------	--------------	-----	-------

【中項目】8-31 財務情報の公開

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	法令通りに対応し公開を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆私立学校法に定める財務情報公開基準に基づき利害関係者が財務諸表を閲覧できる体制は整備している。 ◆職業実践専門課程、高等教育学費支援制度の要件に即して決算書を学校 HP にて公開している。 	なし	・学校 HP（情報公開）

特記事項

- ・2015年度 職業実践専門課程認定（自動車整備科・高度自動車科）
- ・2019年度 高等教育学費修学支援制度対象校

最終更新日付	2022年11月7日	記載責任者	総務部	秋山・北村
--------	------------	-------	-----	-------

基準 9 法令の遵守

【中項目】9-32 関係法令・設置基準等の遵守

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1-1 一種養成施設、認証工場の法令・専修学校設置基準等を遵守しているか。教育部	<ul style="list-style-type: none"> 関係所轄、業界各団体・企業、高校、保護者等社会からの信頼を得るよう法令を遵守する。 教職員に対し、法令遵守教育を実施し徹底する。 	◆一種養成施設、認証工場の法令や専修学校設置基準に対して、設備・教育時間数・教員数など、必要要件を満たして運用を行っている。	なし	<ul style="list-style-type: none"> 一種養成施設変更届 認証工場変更届 学科の設置および収容人数変更に係わる学則変更届
9-32-1-2 法令・専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか 総務部		◆各部で法令遵守状況及び届出実施状況を適宜点検ができていない。	・今年度実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 遵守しなければならない法律・行政機関への届出状況調査票（2016 実施）
9-32-2 学校が保有する個人情報等を法の主旨に則り管理しているか 総務部	個人情報の漏洩は社会からの信用を失うことになるため、慎重に取り扱う必要がある。そのため規程を定め、適切に運用していく。	<ul style="list-style-type: none"> ◆個人情報保護規定を策定し、法令に従い個人情報保護に努めている。 ◆外部に個人情報保護方針を公表している。 ◆各部で取り扱う個人情報データは、個人情報目録を整備して管理している。 ◆委託業者とは個人情報取り扱いに関する覚書を締結している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護に関する規程 個人情報目録

特記事項

- ・2013年 身障者雇用促進法改正に対応し、H28年4月1名採用
- ・2013年 学校法人会計基準改正により H28より決算書の様式変更
- ・2015年 マイナンバー法施行対応
- ・2020年 電子制御装置整備の特定整備事業の認証取得

最終更新日付	2022年10月31日	記載責任者	教育部	谷川
	2022年11月7日		総務部	秋山・北村
	2022年11月11日		学生部	高井

【中項目】9-33 学校評価

《自己点検・自己評価結果》

元「9-33 個人情報」を「9-32 関係法令、設置基準の遵守」に統合したため、学校評価を 9-34 から 9-33 に繰り上げ

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	実施に係る組織体制を整備し、文部科学省のガイドラインに則して、毎年度実施する。	◆毎年度実施している。 ◆当校の実態に即した評価を実施するため、必要に応じて評価項目の内容を追加・変更・削除する。	なし	・自己点検自己評価報告書
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	ホームページに掲載し公表する	◆毎年度公表している。(7月更新)	なし	・学校 HP
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	委員会を設置して、毎年度実施する。	◆毎年度実施している。	なし	・学校関係者評価報告書
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	ホームページに掲載し公表する	◆毎年度公表している。(7月更新)	なし	・学校 HP

特記事項

- ・専修学校は、教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする（学校教育法施行規則第66条、第189条）
- ・専修学校は自己評価の結果を踏まえた関係者による評価を行い、その結果を公表するよう努めるものとする。（学校教育法施行規則第67条、189条）
- ・職業実践専門課程の認定要件の1つに企業等と連携して学校関係者評価委員会を設置し、評価を実施・公開するよう定められている。

最終更新日付	2022年11月7日	記載責任者	総務部	秋山・北村
--------	------------	-------	-----	-------

【中項目】9-34 教育情報の公開

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	ウ 現状評価	エ 課題と解決方向	オ ウの参照資料等
9-34-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか。	学生、保護者、関連業界等広く社会に教育情報を公開する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆学科学年ごとにシラバスを作成、期初に学生ポータルサイトに掲載し学生へ展開している。また、学校ホームページにも公開している。 ◆学校案内パンフレットや学校ホームページで学校概要・教育内容・教員等を公開している。 ◆新入学生保護者向けに、教育方針、教育内容、担当教員などを記載した書簡を送付している。 ◆2015年度より情報公開や保護者への教育内容理解のため新入学生向け保護者会を実施している。 ◆各種教育情報については、保護者・学生向けオンライン連絡ツールを用いて、提供している ◆自己点検自己評価、学校関係者評価の結果や学校運営情報をホームページで公開している。 	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバス ・新入学者向け保護者会案内書簡、開催後アンケート ・保護者宛て書簡 ・学校案内、学校ホームページ ・さくら連絡網 ・学生ポータルサイト

特記事項

なし

最終更新日付	2022年10月31日	記載責任者	教育部	谷川
--------	-------------	-------	-----	----

基準 10 社会貢献・地域貢献

【中項目】 10-35 社会貢献・地域貢献

《自己点検・自己評価結果》

小項目	ア 考え方・方針	イ 現状評価	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-35-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 教育部 学生部 総務部	社会・地域貢献の観点から可能な範囲で実施する	◆学園祭で地域の方に参加していただけるようなイベントを企画し、実施している。	なし	・学園祭パンフレット
		◆高校に出向き、進路相談会や出張授業に参画し、生徒の進路選択に貢献している。	なし	
		◆地域住民、近隣学校の体育授業にテニスコートを貸し出している。 ◆2014年度より地域の少年野球チームにグラウンドを貸し出している。 ◆近隣中学生のトライやるウィーク（職業体験）を受け入れている。	なし	
10-35-2 国際交流に取り組んでいるか（教育部）	留学生の入学を積極的に受け入れ、資格取得、就職を果たさせることで国際貢献する	◆留学生の積極的な受け入れに取り組み、奨学金制度（納付金の一部免除）も導入している。また、日本語教育の充実のために日本語教師資格を持った教員を配備している。 ◆留学生の国家整備士資格取得および就職は、日本人同様の実績を残している。 ◆留学生本国のトヨタへの就職も斡旋している。 ◆2019年度より、留学生専任スタッフを配備し、担任および各部署と連携しながら、留学生の生活支援および就職支援を行っている。 ◆2020年度より、3年制課程「国際自動車整備科」を開設し、留学生にとって入学しやすい学費・教育形態の学科を提供している。	なし	
10-35-3 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	学生に社会性を育む教育の一環として、ボランティア活動を奨励していく。	◆学校内での献血活動（2回/年）を実施している。 ◆寮生は地域清掃活動へ参加している。 ◆学生による近隣の清掃活動を実施している（2回/月）	なし	

特記事項

- ・グラウンド、テニスコート2面（うち1面はフットサル兼用）あり
- ・テニスコートは平日、近隣住民に貸出をしている
- ・2021.1～11月実績 107校の高校の進路相談会に参画
- ・2022年度献血活動実績（ ）内は昨年実績
学生、職員等：310名（201名）
- ・2022年度トライやるウィーク受け入れ実績：8名
（太山寺中学2名、伊川谷中学2名、夢野中学2名、多聞東中学2名）
- ・2022年度の学園祭はコロナウイルス対応のため、地域の方が参加できるイベントは実施せず

最終更新日付	2022年10月31日	記載責任者	教育部	谷川
	2022年11月7日		総務部	秋山/北村
	2022年11月11日		学生部	高井